

中世木モニタリング 6月

区 分：モニタリング

日 時：2023年6月23日（金）

場 所：南丹市日吉町中世木地区

天 候：くもり

主宰者：前田敦子

参加者：7名



クマノミズキ

梅雨らしい空模様でした。ちまたでは気温が上がるということでしたが、中世木では曇り空の下で快適にモニタリングが進みました。

前田さん宅前では、川からシュレーゲルアオガエルやカジカガエルの声が響き、山ではホオジロ、セキレイなどが囀っている中でのスタートでした。田んぼのあぜには、シュレーゲルアオガエルの卵の泡がいくつも観察できました。畑に向かう林道ではクマノミズキの大木が満開の時期でした。



コマツナギ



ヤワゲフウロ

A区間での畑ではホタルブクロがたくさん咲いています。前田さんが、草刈りの時にホタルブクロを間違えて刈り取らないように配慮されて、たくさん残ったものだそうです。畑の中の小さい花々を記録して…、ヤブカンゾウはまだ蕾が固く青い状態でした。



ホタルブクロ



ウツボグサ



ジャノヒゲ

B区間の畑から続く林道ではハンショウヅルのトゲトゲの実がありました。この実は熟すと綿毛になるようです。



ハンショウヅル



ケサンカクヅル



ケサンカクヅルの若葉には1ミリぐらいの水滴が葉を縁取るようにキラキラと並び、光を反射しているのが幻想的で、かわいらしくもあり印象的でした。(蒸発しきれなかった水分を早朝に排出口から出している現象)

マタタビの葉が白くなる現象を今回はじめて教えていただきました。葉の表面の組織が薄く浮き上がり、光の反射や透過の違いにより白く見えているだけなんですね。ハンゲショウも同じ現象です。



マタタビ

C区間の沢からの山道では、頭上にモリアオガエルの卵その下の水たまり、その中のイモリ。生育2年目で今年の花を期待できるアケボノソウも数多く健在でした。

午後からは牧山地区へ。車1台がギリギリの細道を進みます。行き止まりから山道に入ります。オオバノトンボソウ、ニホンカイガワタチツボスミレ(仮称)、ニシキゴロモ、ヤマジノホトトギス、などが見られました。途中で、群生したニガイチゴの実の甘いのを探して食べました。(田中)



アケボノソウ



ムラサキシキブ